

MATERIA

軒天ボード

作成：2024年1月

MATERIA 軒天ボードシリーズ
Planer Wood nokiten
(プレーナーウッド ノキテン)
テクニカルガイド

旭トステム外装株式会社

□適用範囲

軒天井（外壁等、軒天井以外には使用しないでください。）

□認定番号

QF045RS-9122

認定の構造にするためには、下地の仕様、固定釘などに制限があります。

□製品寸法

16×455×3,030mm

□施工仕様（防・準耐火認定上の規定）

（1）軒天ボード

- ①軒の出寸法：1,000mm 以下
- ②施工方法：釘留め（留め付け間隔：幅方向に3本留め）
- ③留め付け釘：リングネイル 50mm（V R N 50等）

（2）野縁

- ①軒の出 500mm 以下の場合：
断面寸法 30×30mm 以上、ピッチ 500mm 以下
- ②軒の出 500mm 以上 1,000mm 以下の場合：
断面寸法 35×35mm 以上、ピッチ 500mm 以下

（3）吊木について

軒の出 500mmを超える場合は吊木を入れてください。

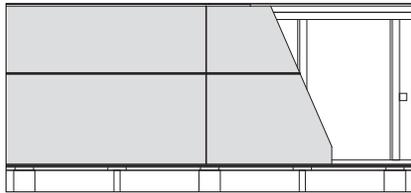
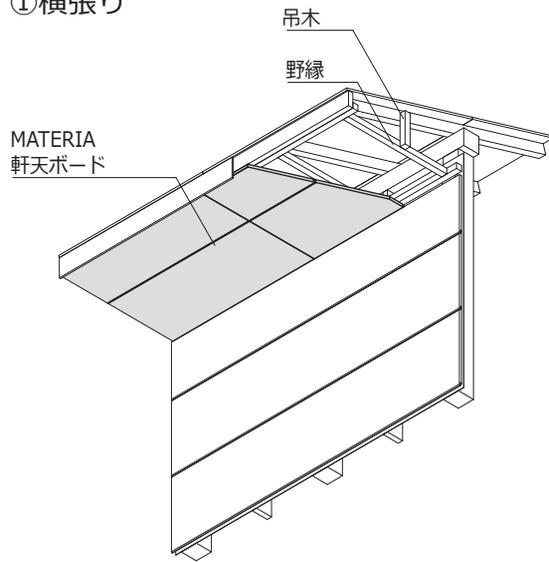
- ①断面寸法：35×35mm 以上
- ②ピッチ：軒の出方向 500mm 以下、軒の幅方向 1,000mm 以下

□施工上の注意点

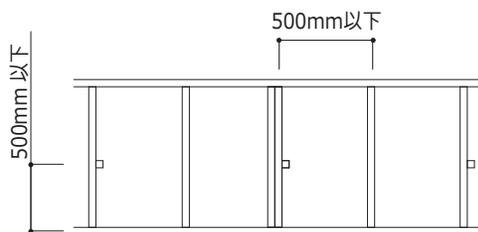
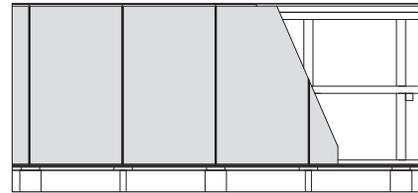
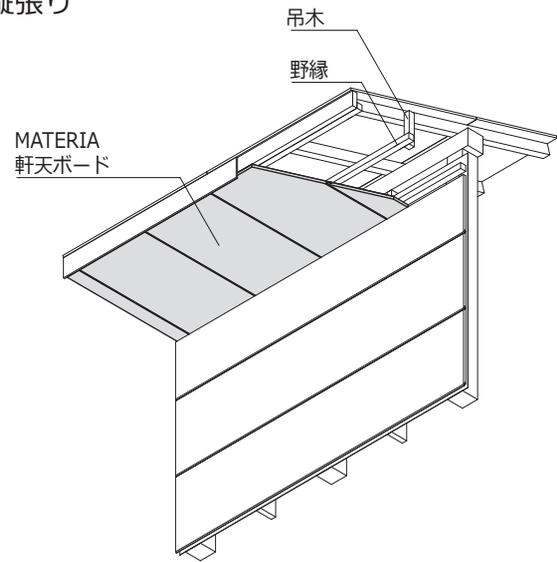
- （1）釘打ちの際は、必ず先孔を空けてください。
- （2）製品本体の切断木口面は予め防水処理を行ってから取付けてください。
（防水処理方法：木口シーラーを塗装、乾燥後に補修塗料を塗布してください。）
- （3）製品の意匠は8パターンありますので、色味のバランスを考慮して施工してください。
- （4）横張り施工の場合、本体接合部は突き付け納まりとなり、シーリング材の施工は不要です。

□納まり参考図

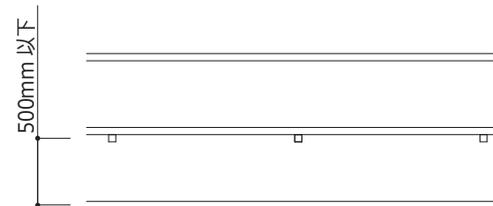
①横張り



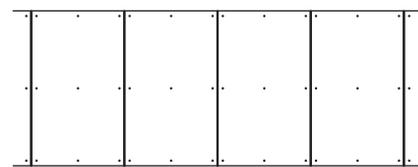
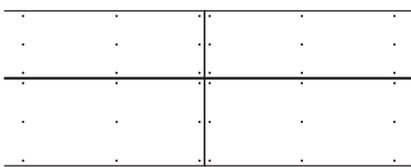
②縦張り



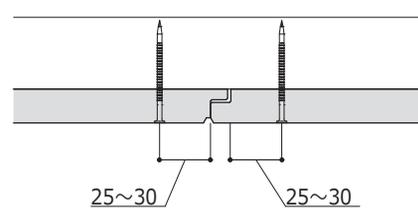
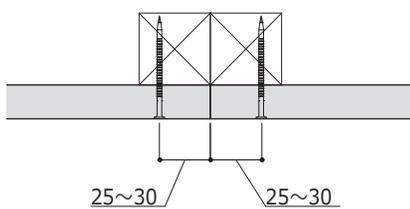
野縁組



釘留め位置 (板幅方向に3本)



目地部納まり



□鉄骨下地への施工

鉄骨下地の場合は以下の条件を満たす施工としてください。

1. 対象建築物

- 1) 層間変形角 : 1/200 以下であること (設計の際に、構造計算で確認を行ってください。)
- 2) 規 模 : 3階建て以下、高さ 13m以下、延床面積 500m² 以下
- 3) 用 途 : 専用住宅、店舗併用住宅、事務所、店舗、共同住宅
- 4) 立 地 条 件 : 幹線道路沿いなど常時揺れが想定される建物は不可

2. 下地仕様

1) 野縁 (C型チャンネル等)

サイズ : t=1.6 以上 (軒の出が 500mm を超える場合は 2.3mm 以上)

断面 60×30×10mm 以上

ピッチ : 606mm 以下 (木胴縁を縦に入れる場合は 500mm ピッチ以下)

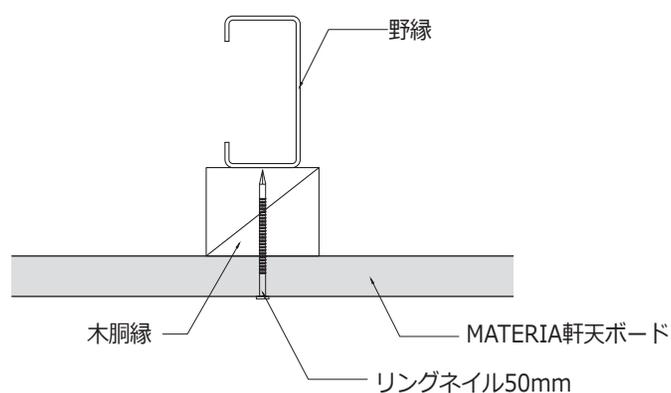
2) 木胴縁

サイズ : t=35mm 程度 (構造用合板を併用する場合はその厚さ分木胴縁の厚さを減じることが可能です。)

W=90mm 以上 (接合部)、45mm 以上 (一般部)

樹 種 : スギ、ベイツガ等の乾燥木材

ピッチ : 500mm 以下



3) 不陸

木胴縁の不陸は 2mm 以内とします。

□補修方法について

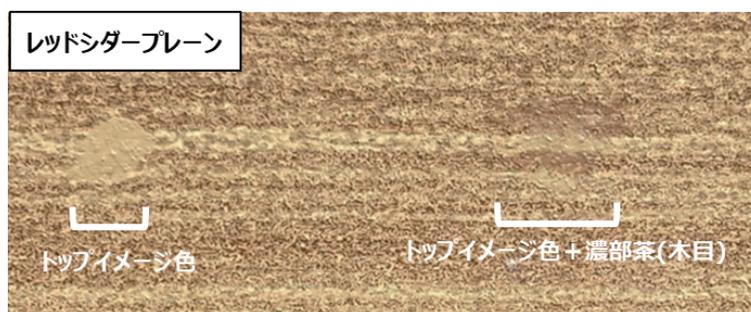
「トップイメージ色」による補修で木目がぼやけた場合でも、「濃部茶(木目)」で上から補修することできれいな仕上がりになります。

□補修手順

- ①トップイメージ色を塗布し、しっかりと乾燥させる。
- ②補修部周囲の木目を狙って、木目を描くように薄く塗布する*

※ 周囲の本体の色味に合わせて、下記色を適宜使い分けるときれいに仕上がります

- ・レッドシダープレーンは「濃部茶(木目)」または「濃部赤」
- ・レッドシダーミディアムは「濃部茶(木目)」または「淡部茶」



注意！ 大面積の補修は経年褪色の違いにより補修部分が目立つ恐れがあります